

病虫害発生予察 5月月報 (生育概況及び病虫害の調査結果)

令和5年4月の気象表(長野地方気象台)

官 署	平均気温 °C			降水量 mm			日照時間 h			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
長 野	本年	11.8	12.2	12.1	12.0	22.0	31.5	80.8	68.4	73.8
	平年	8.4	10.7	12.8	18.7	19.4	18.8	66.4	65.7	67.3
松 本	本年	11.6	13.6	12.0	6.0	23.0	56.0	78.0	79.4	79.0
	平年	8.6	10.9	12.9	26.3	30.5	24.4	68.7	66.4	69.8
諏 訪	本年	10.7	12.2	11.1	18.0	31.0	81.5	79.5	78.2	73.7
	平年	8.0	10.1	12.0	30.3	35.7	26.8	69.7	66.7	68.0
軽井沢	本年	7.8	9.9	8.2	10.5	21.0	48.0	74.5	86.0	77.3
	平年	4.9	7.1	9.0	27.4	29.9	23.7	70.3	65.7	68.7
飯 田	本年	11.9	13.4	13.5	47.5	65.5	89.5	77.1	78.4	65.8
	平年	9.9	11.9	13.6	47.2	52.9	40.9	64.7	62.9	65.8

○4月の気象概況(令和5年5月2日発表)

天気は数日の周期で変化した。

上旬から中旬をにかけて暖かい空気に覆われやすく、また南からの暖かい空気が流れ込んだ時期もあり、月平均気温は平年より高くなった。

なお、長野地方気象台は4月3日にソメイヨシノの満開を観測した。平年より13日早く、昨年より8日早い満開となった。

1 麦

(1) 生育概況

大麦では、幼穂形成期は平年に比べ1日遅かったが、茎立期は、平年に比べ1日早く、出穂期は9日早かった。

小麦では、幼穂形成期は平年に比べ9日早かったが、その後、生育がやや遅れ、茎立期は平年並であった。その後、再び生育が進み、出穂期は平年に比べ6日早かった(第1表)。

第1表 麦の生育状況 須坂市(農業試験場作物部)

品種名	区分	幼穂形成期	茎立期	出穂期
ファイバースノウ (大麦)	平年	2/27	3/28	4/28
	前年	2/24	4/ 1	4/27
	本年 (平年差)	2/28 (+1)	3/27 (-1)	4/19 (-9)
シラネコムギ (小麦)	平年	3/15	3/27	5/ 5
	前年	3/11	4/ 1	5/ 2
	本年 (平年差)	3/ 6 (-9)	3/27 (+0)	4/29 (-6)

<耕種概要>播種期:大麦 令和4年10月20日、小麦 令和4年10月20日
(注)平年値は過去7か年における最大値と最小値を除いた5か年の平均値。
()内は平年差。

(2) 病虫害の発生状況

①小麦の土壤伝染性ウイルス病害(コムギ縞萎縮病・萎縮病)

耐病性品種への変更や大麦への転換等が行われているが、罹病性品種作付ほ場の一部で発生がみられた。

2 水 稲

(1) 病虫害の発生状況

①育苗期細菌性病害

高温の影響で、一部でもみ枯細菌病の発生がみられたが、全般には平年並の発生で推移している。

②苗立枯病

昼夜の気温変化が激しい日が多く、一部でリゾープス菌、トリコデルマ菌、ピシウム菌による苗立枯病が発生したが、全般には平年並の発生で推移している。

③イネミズゾウムシ(越冬世代成虫)

4月の気温が平年より高く推移したため、アメダスの気温データを用いた有効積算温度による越冬後成虫の半数出現推定時期は、多くの地点において、5月15日時点で平年に比べ早いと推定されている(第2表)。

第2表 イネミズゾウムシ越冬後成虫の半数出現推定時期

区分	佐久	上田	諏訪	伊那	飯田	木曾 福島	松本	大町	長野	飯山
平年	5/13	5/ 9	5/18	5/ 9	5/ 6	5/16	5/ 7	5/23	5/10	5/15
本年	5/ 5	5/ 2	5/18	5/ 5	5/ 1	5/12	5/ 5	5/26	5/ 5	5/15
(平年差)	(-8)	(-7)	(0)	(-4)	(-5)	(-4)	(-2)	(+3)	(-5)	(0)

*2023年1月1日を起算日とし、5月14日までは本年のアメダスの気温データの実測値、半数脱出推定時期に達していない場合は、5月15日以降を平年値で予測。

*平年の推定時期は、過去10年間の気温データの実測値に基づく推定時期の平均。

④キンモンホソガ

須坂市内のフェロモントラップによる誘殺頭数は、4月第3半旬は平年と比べやや多かった(第2表)。

第2表 キンモンホソガのフェロモントラップ誘殺消長(頭)

須坂市(病害虫防除所)												
月 半旬	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	0.0	0.0	0.8	1.4	2.7	2.0	1.5	1.2	0.5	0.2	0.6	3.6
前年	0	0	4	4	6	5	1	0	1	0	0	5
本年	1	0	13	5	2	2	0	1				

平年は2013年から2022年までの平均値。

3 りんご

(1) 生育概況

開花期は平年と比べ14日早かった。落花期は平年と比べ9日早かった(第1表)。

第1表 りんごの生育状況 須坂市(果樹試験場)

品種名	区分	発芽期	展葉期	開花期	満開期	落花期
ふじ	平年	3/30	4/12	4/28	5/ 2	5/ 7
	前年	3/31	4/10	4/24	4/28	5/ 6
	本年	3/23	4/ 1	4/14	4/21	4/28
	(平年差)	(-7)	(-11)	(-14)	(-11)	(-9)
シナノ スイート	平年	3/31	4/13	4/28	5/ 2	5/ 8
	前年	4/ 3	4/10	4/22	4/28	5/ 9
	本年	3/24	4/ 1	4/14	4/21	4/29
	(平年差)	(-7)	(-12)	(-14)	(-11)	(-9)

平年は1991年から2020年までの平均値。

(2) 病害虫の発生状況

①黒星病

巡回調査では、発生はみられなかった。発生量は平年並である。

須坂市(果樹試験場)では、無防除樹における花そう葉での発病率は25.6%(5月8日時点)であった。果樹試験場内での子のう胞子の飛散は4月6日~10日に確認された。

②うどんこ病

巡回調査では、発生がみられなかった。発生量は平年並である。

③ハマキムシ類

巡回調査では、寄生はみられなかった。発生量は平年並である。

4 なし

(1) 生育概況

発芽期は6~7日早かった。開花期(盛)は平年と比べ10~12日早かった。落花期は8~10日早かった(第1表)。

第1表 なしの生育状況 高森町(南信農業試験場)

品種名	区分	発芽期	鱗片 脱落期	展葉期	開花期		落花期
					始	盛	
二十世紀	平年	4/ 1	4/ 9	4/14	4/18	4/20	4/29
	前年	4/ 1	4/ 8	4/11	4/13	4/14	4/24
	本年	3/25	3/31	4/ 3	4/ 8	4/10	4/20
	(平年差)	(-7)	(-9)	(-11)	(-10)	(-10)	(-9)
幸水	平年	4/ 3	4/ 9	4/17	4/20	4/23	5/ 1
	前年	4/ 7	4/10	4/13	4/15	4/16	4/26
	本年	3/28	4/ 1	4/ 8	4/11	4/12	4/23
	(平年差)	(-6)	(-8)	(-9)	(-9)	(-11)	(-8)
豊水	平年	3/31	4/ 7	4/12	4/17	4/20	4/28
	前年	3/31	4/ 6	4/10	4/13	4/14	4/24
	本年	3/24	3/29	4/ 3	4/ 6	4/ 8	4/18
	(平年差)	(-7)	(-9)	(-9)	(-11)	(-12)	(-10)

平年は2001年から2020年までの平均値。

(2) 病害虫の発生状況

①黒斑病

巡回調査では、発生はみられなかった。

高森町（南信農業試験場）では、4月中旬以降の胞子形成度は平年と比べ低く推移している（第2表）。補足胞子数は平年並で推移している（第3表）。果実及び新梢葉への発病は、みられなかった（第4、5表）。

第2表 越冬病斑上の胞子形成度 高森町（南信農業試験場）

区分	4月			5月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	13.6	18.3	26.8	23.3	35.5	32.7
前年	0.0	3.3	15.0	0.0	3.3	5.6
本年	0.0	3.3	5.0	6.7	6.7	

平年は2013年から2022年までの平均値。
値100の場合は1個の病斑に100個以上分生子を形成している状態。

第3表 アルタナリア属菌の捕捉胞子数 高森町（南信農業試験場）

区分	4月			5月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	1.3	2.6	6.1	7.1	15.6	23.3
前年	1	3	14	2	22	41
本年	0	2	6	6		

平年は2013年から2022年までの平均値。18mm×18mm当たりの胞子数（個）。

第4表 果実の発病（「二十世紀」殺菌剤無散布樹） 高森町（南信農業試験場）

区分	5月			6月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	0.0	0.0	1.0	1.8	4.3	12.4
前年	0.0	0.4	1.0	0.9	4.0	43.8
本年	0.0	0.0				

平年は2013年から2022年までの平均値。

第5表 新梢葉の発病（「二十世紀」殺菌剤無散布樹） 高森町（南信農業試験場）

区分	5月			6月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	0.1	0.1	2.0	5.1	8.7	20.0
前年	0.0	0.0	17.0	13.2	18.9	31.6
本年	0.0	0.0				

平年は2013年から2022年の平均値。

②黒星病

巡回調査では、果実や葉への発生はみられなかった。

高森町（南信農業試験場）では、子のう胞子の飛散が4月第2半旬からみられた（第6表）。殺菌剤無散布樹（二十世紀）の果実の発病は、5月上旬にみられ、果そう葉の発病は5月中旬にみられた（第7、8表）。

第6表 ナシ黒星病 子のう胞子飛散消長 高森町（南信農業試験場）

区分	4月						5月		
	1	2	3	4	5	6	1	2	3
平年	8	180	384	1,029	4,075	2,025	3,516	3,166	1,439
前年	0	0	3	27	109	1,423	378	574	1,733
本年	0	1	1	4	1	36	0	249	70

平年は2013年から2022年までの平均値。罹病葉から飛散する子のう胞子数。

第7表 果実の発病 高森町（南信農業試験場）

区分	4月	5月		
	25日	5日	15日	25日
平年	1.2	12.7	25.6	27.8
前年	0.0	1.0	27.4	25.5
本年	0.0	10.3	22.5	

平年は2013年から2022年までの平均値。「幸水」殺菌剤無散布樹で調査。

第8表 果そう葉の発病 高森町（南信農業試験場）

区分	4月	5月		
	25日	5日	15日	25日
平年	0.0	1.4	5.2	20.7
前年	0.0	0.0	2.1	38.3
本年	0.0	0.0	5.3	

平年は2013年から2022年までの平均値。「幸水」殺菌剤無散布樹で調査。

③赤星病

巡回調査では、発生はみられなかった。

④輪紋病

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑤ハマキムシ類

巡回調査では、寄生はみられなかった。

⑥クワコナカイガラムシ

高森町(南信農業試験場)における発育有効積算温度によるクワコナカイガラムシの越冬卵のふ化完了予測日は5月9日で、平年と比べ早かった(第9表)。

第9表 発育有効積算温度によるクワコナカイガラムシ越冬卵のふ化完了予測日
高森町(南信農業試験場・標高560m)

年次	本年	平年	前年	2021年	2020年	2019年
完了予測日	5/9	5/20	5/9	5/19	5/22	5/21

平年は2013年～2022年までの平均気温による予測日。

⑦ナシヒメシンクイ

高森町(南信農業試験場)のフェロモントラップによる誘殺頭数は、4月第1半旬から第3半旬に平年と比べやや多く誘殺された(第10表)。

第10表 ナシヒメシンクイのフェロモントラップ誘殺消長(頭)
高森町(南信農業試験場)

月	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
半旬	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	1.1	2.9	2.4	2.7	4.3	2.3	3.2	1.6	1.0	0.9	0.5	0.1
前年	1	5	8	5	2	1.5	1.5	1.5	0.5	0	0	0
本年	4	5	5	1.5	5	1	1	0				

平年は2013年～2022年までの平均値。

5 **もも**

(1) 生育概況

開花期は、白鳳及び川中島白桃は平年と比べ12日早く、秀峰(ネクタリン)は平年と比べ13日早かった。満開期は、白鳳は平年と比べ15日早く、川中島白桃は平年と比べ11日早く、秀峰は平年と比べ14日早かった(第1表)。

第1表 ももの生育状況

須坂市(果樹試験場)

品種名	区分	発芽	展葉	開花	満開	落花
白鳳	平年	3/30	4/21	4/18	4/24	5/2
	前年	3/31	4/14	4/15	4/21	4/27
	本年 (平年差)	3/23 (-7)	4/7 (-14)	4/6 (-12)	4/9 (-15)	4/17 (-15)
川中島白桃	平年	3/30	4/21	4/18	4/24	5/3
	前年	4/4	4/17	4/17	4/24	4/28
	本年 (平年差)	3/23 (-7)	4/7 (-14)	4/6 (-12)	4/13 (-11)	4/21 (-12)
(ネクタリン) 秀峰	平年	3/28	4/19	4/16	4/21	4/30
	前年	3/28	4/14	4/13	4/19	4/27
	本年 (平年差)	3/22 (-6)	4/6 (-13)	4/3 (-13)	4/7 (-14)	4/16 (-14)

平年は1991年から2020年までの平均値。

白鳳は2009年から、川中島白桃は2019年から、秀峰は2008年から調査樹更新。

(2) 病害虫の発生状況

①灰星病

巡回調査では、東信地域の1ほ場で花腐れの発生がみられた。

②せん孔細菌病

巡回調査では、東信地域の1ほ場で春型枝病斑の発生がみられた。

③モモハモグリガ

巡回調査では、幼虫の寄生葉はみられなかった。

フェロモントラップによる誘殺頭数は、4月第1半旬～第3半旬は平年に比べやや多く、第5半旬～5月第1半旬は平年と比べやや少なかった(第2表)。

第2表 モモハモグリガのフェロモントラップ誘殺消長(頭)

須坂市(病害虫防除所)

月	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
半旬	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	0.3	0.3	0.0	0.9	5.7	4.8	3.4	0.7	1.2	0.6	0.6	1.5
前年	0	0	0	0	11	0	0	1	0	2	1	0
本年	3	2	9	1	1	1	0	2				

平年は2013年～2022年までの平均値。

④ナシヒメシンクイ

巡回調査では、芯折れの発生はみられなかった。

⑤カメムシ類

巡回調査では、果実の被害はみられなかった。

6 **ぶどう**

(1) 生育概況

発芽は平年と比べ6日早く、展葉は平年と比べ4日早かった(第1表)。

第1表 ぶどうの生育状況 須坂市(果樹試験場)

品種名	区分	発芽期	展葉期	開花期	満開期	落花期
巨峰	平年	4/27	5/ 3	6/ 8	6/11	6/14
	前年	4/25	5/ 2	6/ 8	6/12	6/15
	本年 (平年差)	4/21 (-6)	4/29 (-4)			

平年は1991年～2020年までの平均値。

7 **うめ**

(1) 病害虫の発生状況

①かいよう病

巡回調査では、越冬病斑はみられなかった。

8 **野菜**

(1) 病害虫の発生状況

①施設野菜(トマト・きゅうり)の病害

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

②アスパラガスの病害虫

巡回調査では、病害虫の発生はみられなかった。

③たまねぎの病害

巡回調査では、病害虫の発生はみられなかった。

④きくの病害

巡回調査では、病害虫の発生はみられなかった。

⑤アザミウマ類

巡回調査では、北信地域のきゅうり(施設・半促成栽培)で寄生がわずかにみられた。

青色粘着トラップによる調査では、誘殺はみられなかった(第1表)。

第1表 青色粘着トラップによるアザミウマ類誘殺消長(頭)

設置場所	品目	区分	4月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
塩尻市洗馬 (地区発生予察ほ)	レタス	平年	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.3
		本年	0	0	0	0	0	0

平年は2018年から2022年までの平均値。

⑥アブラムシ類

巡回調査では、寄生はみられなかった。

黄色粘着トラップによる調査では、塩尻市洗馬(地区発生予察ほ)は4月第6半旬に初誘殺され、小諸市山浦(県発生予察ほ)の誘殺頭数は平年に比べやや多かった(第2表)。

第2表 黄色粘着トラップによるアブラムシ類有翅虫飛来消長(頭)

設置場所	品目	区分	4月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	0.0	0.4	0.4	0.4	0.6	0.8
		本年	0	0	1	1	1	0
小諸市山浦 (県発生予察ほ)	レタス	平年	0.2	0.5	1.0	1.5	2.0	2.8
		本年	2	1	7	4	1	9
塩尻市洗馬 (地区発生予察ほ)	レタス	平年	0.3	0.0	0.0	0.8	1.0	1.7
		本年	0	0	0	0	0	2

平年は小諸市山浦及び塩尻市洗馬は2017年から、塩尻市宗賀は2018年から2022年までの平均値。

⑦コナジラミ類

巡回調査では、北信地域のトマト(施設・半促成栽培)に寄生がわずかにみられた。

⑧ナモグリバエ（レタス）

巡回調査では、寄生はみられなかった。

黄色粘着トラップによる調査では、小諸市（県発生予察ほ）の誘殺頭数は平年並であった（第3表）。

第3表 黄色粘着トラップによるナモグリバエ誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	4月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
小諸市山浦 (県発生予察ほ)	レタス	平年	1	1.8	7	4.2	7.2	7.8
		本年	0	1	5	4	5	4

平年は2018年から2022年までの平均値。

⑨コナガ（アブラナ科野菜）

巡回調査では、寄生はみられなかった。

フェロモントラップによる調査では、誘殺頭数は各地点で平年に比べやや多かった（第4表）。

第4表 フェロモントラップによるコナガ誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	4月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	1.3	0.9	1.3	3.1	4.9	7.8
		本年	7	5	9	4	7	11
小諸市山浦 (県発生予察ほ)	レタス	平年	1.5	1.2	2.2	3.2	5.4	3.7
		本年	9	7	3	6	4	5
朝日村古見 (地区発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	0.4	0.5	0.8	1.8	5.5	3.5
		本年	1	0	4	4	11	18

平年は塩尻市宗賀及び小諸市山浦は2013年から2022年まで、朝日村古見2019年から2022年までの平均値。

⑩オオタバコガ

巡回調査では、寄生はみられなかった。

フェロモントラップによる調査では、塩尻市宗賀（県発生予察ほ）は4月第4半旬に初誘殺された。小諸市山浦（県発生予察ほ）及び朝日村古見（地区発生予察ほ）は誘殺されなかった（第5表）。

第5表 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	4月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3
		本年	0	0	0	1	0	0
小諸市山浦 (県発生予察ほ)	レタス	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
		本年	0	0	0	0	0	0
須坂市小河原 (農業試験場)	とうもろこし ・水稲	平年	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
		本年	0	0	0	0	0	0

平年は2013年から2022年までの平均値。

⑪ハダニ類

巡回調査では、寄生はみられなかった。